

大成農材株式会社  
http://www.taiseinozai.co.jp

## 18年間の実績!

新しき 激動の年をむかえ  
一度 マンネリの歩みを止めて  
今までの 農作業 を  
点検して みませんか？

これは ポントに美味しいと  
食べた人が悦ぶ!!  
そんな作物を作りたいですね  
ポイントは 土作りと肥料です

土作りがカンタンにでき  
ミミズが増えて(地力向上)  
健康な作物が育つ(美味作り)  
そのような農法が実はあります

土壤菌の活力源や旨味の素は  
水溶性のアミノ酸・核酸などです  
これらをタップリと含んだ肥料を  
しっかり見定めて試してみる  
のは如何でしょうか!!

安心・安全で美味しい野菜を毎日たべたい方。差別性のある作物で経営の安定を狙う農家。それが誰にでもカンタンに叶えられる肥料!!

**バイオ有機 S**  
広島市中区鉄砲町7-8 ネクスト鉄砲町ビル  
0120-014-052 FAX 082-222-6646

「いのちの壱」は、育成者権を管理する「合資会社 龍の瞳」が、岐阜県内の農家中心に契約栽培してもらっている。現在の作付面積は三一ha。〇七年産から岐阜県の产地品種銘柄の設定を受けている。

鳴子の「ゆきむすび」は、農家の所得を保証するため一万八〇〇〇円で買上げられ、消費者には二万四〇〇〇円で売られるという。「いのちの壱」の二〇〇七年の農家買い上げ価格は、二万三〇〇〇円。米価が低迷している中で、契約農家には非常に喜ばれている。

環境まで守る  
**下呂の米プロジェクト**

私が考えている「下呂の米プロジェクト」が目指すポイントは、以下の四

なので一石二鳥である。

また「合資会社 龍の瞳」の収益金は、可能な限り「山と川の再生」に使われることになっている。下呂温泉から見える山々を、広葉樹と針葉樹の混交林に変えるのが私の夢である。水田には栄養分豊富な水が必要であるが、山を混交林にすることで、水田には良い水が確保される。できればそのまま海まできれいな水を届けたい。混交林は、洪水防止などにも非常に有効である。

なたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」でも最優秀賞をいただいたことに尽きる。

「いのちの壱」は、育成者権を管理する「合資会社 龍の瞳」が、岐阜県内の農家中心に契約栽培してもらっている。現在の作付面積は三一ha。〇七年

つである。

① 地産地消  
② 古の自然環境の復活  
③ 地域の人々が地域に自信を持つ  
④ 交流人口の増加

これらを一体のものとして、相互に関連しながら進めていきたい。

地産地消の観点から販売先は基本的に下呂市内とし、現在は温泉旅館や土

産物屋、商店やスーパーなどに届けている。ゆくゆくは下呂に来たほとんどのお客さんに「いのちの壱」を食べていただけるようにしたいと思つている。

鳴子では、おにぎりを作つて「ゆきむすび」と他品種との食べ比べなどが行なわれ、さまざまな加工品の試作も始まつていると聞く。「いのちの壱」も、その大きさとおいしさからボンボン菓子、甘酒、酒、せんべい、おかゆなどさまざまな加工品もできると思つている。

のみならず、ワラが草履、蓑、たたみ、俵、土壁、ワラ飾り、家畜の飼料などいろいろなものに使われて日本人の生活と文化を支えてきた。昔の暮らしに戻ることはできないにしても新たなワラの利用法を考え、またできれば「イネ文化祭」のようなイベントも催し、今は廃れてしまつたイネ文化も現代に復活させてみたいとも思つている。

下呂には資源が多く、また何かをしよう、したい、と摸索している人々が相当数存在する。今後は私個人の計画から一歩踏み出すため、まずは「下呂の米プロジェクト」案を発信すること

で作ればかなり収量を上げることもできる。しかし古の自然環境を復活するためにすべての契約農家が農薬の使用をできるだけ控え、苗箱施薬二ポイント、除草剤二ポイント、イモチ予防剤一ポイントで栽培してもらっている。

田んぼ自体が、生物のいのちが巡る場所である。お米の命を人がいただけで、自らの命を存える。私が品種名に「いのちの壱」と名づけた理由である。「壱」には「元」という意味が込められている。

十数年殺虫剤を使用していない私の田んぼにはミジンコ、クモ、トンボ、カエルなどが非常に多い。絶滅危惧種の糸トンボなども大発生している。「いのちの壱」の契約栽培を広げることで低農薬の面積を広めていけば、日本の環境はかなりよくなると思われる。ドジョウやタニシがすむ田んぼにしていけば、タンパク質の供給源にも

から始めなければいけない。一人ひとりの力は弱いけれども、何人か、何十人がが動けば確実に「運動」として転がりだすと信じている。鳴子にできたことが、下呂でできないはずはない。

(岐阜県下呂市萩原町宮田四一五  
合資会社 龍の瞳 <http://yundotomi.jp/>)

「龍の瞳」の種モミは、自然環境を守るための契約栽培をしてくださる方のみに提供しております。無断で種モミを採取して栽培することは、種苗法で禁じられているのでご注意ください。